

業務改善の実施状況報告

組 織 名	関東森林管理局 千葉森林管理事務所	連 絡 先	043-242-4656
所管する 業務の概要	国有林野の管理経営、下刈・保育間伐等の森林整備、治山事業の実施等		

1 職員の基本的な心構え・行動について	
・ これまでの取組実績及び現在実施している取組	・ 今後の課題とその改善策
・ 各自、業務を進める中で、職場での常識だけでなく、世間一般常識を常に念頭に置いた行動を取るよう取り組んでいるとともに、来客者に対しては、基本的に複数の者が応対するなど、親切で適切な応接となるよう取り組んでいる。	・ 法令に沿って業務を遂行しているものの、その対応がややもすれば地域あるいは民間人の考えていることと異なる場合がある。親切な説明はもとよりであるが、当方の考えていることを的確に相手方に理解してもらう説明能力を向上させることが求められている。

2 国民視点に立った業務の遂行について	
・ これまでの取組実績及び現在実施している取組	・ 今後の課題とその改善策
・ これまでの反省から、様々なチェックポイントが示されており、常にこれらとの整合性を取るようにしている。また、広いフィールドを管理することから来るリスク管理は相当広範囲となるが、情報収集能力を高め、情報があつた場合には、まず、現地を視認して対応策を検討することを心掛けている。	・ 業務の推進、リスク管理の徹底等においては、情報収集が極めて重要であることから、より高い情報収集を目指して関係者等とのコミュニケーションを取ることを目指している。 また、出所日においては、現場森林官から、各市町村等の動き、地域の変化等について聞き取ることにしている。

3 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・ これまでの取組実績及び現在実施している取組	・ 今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> 業務を進める中で、情報交換ができるよう各課毎に打合せの時間を設けるとともに、現場森林官等の意見を業務に反映させるよう出所日のみならず、打合せの時間を設ける事としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課をまたぐ事案の処理については、スピード感に欠けるところも散見されることから、今後は業務提案をしやすい職場環境づくりもより充実することが必要である。

4 その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・ これまでの取組実績及び現在実施している取組	・ 今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> 国有林の役割や千葉森林管理事務所の業務のPRをいかに行き行っていくかも重要な業務の一つである。 地元中学校への森林教室や所で企画するイベントあるいは地域イベントへの参加等を行う中で、効果的なPRにつながるように前回の反省・感想・意見等を反映させながら内容の工夫に心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 森林教室や各種イベントを実行していく中で、森林の持つ公益的な機能等について知らない人が多いことを実感している。 今後とも地道なPR活動を進めていくことはもちろんであるが、国有林野の管理・経営を始め、所の取り組みをいかに知って貰うかに重点を置きながら地域になくてはならない千葉森林管理事務所となるように職員一丸となって取り組む必要がある。